

令和 6 年度第 1 回伊勢崎地域保健医療対策協議会
議事概要

○日 時：令和 6 年 9 月 2 6 日（木） 1 3：3 0～1 4：3 0

○場 所：伊勢崎市役所 東館 3 階 災害対策室

○出席者：伊勢崎地域保健医療対策協議会委員 1 4 名中 1 4 名出席（代理出席を含む）
アドバイザー、事務局、オブザーバー

1 開会

2 あいさつ

3 議題

議題（1）伊勢崎保健医療圏における病院の開設等に係る事前協議の審査方針について

○資料 1 に基づき事務局から説明。

○意見等の概要は次のとおり

（臂会長）

- ・ 議題 1 の審査方針について意見がないということだが、異議がなければ拍手をお願いしたい。
（全員拍手）
- ・ 拍手ということで「承認」とする。審査方針について承認されたということで、本決定については事務局より伊勢崎佐波医師会を通じて周知を図っていく。

4 報告事項等

報告（1）地域医療構想（推進区域、モデル推進区域）について

○資料 2 に基づき事務局（医務課）から説明。

○意見等の概要は次のとおり

（会長）

- ・ 大変タイトなスケジュールということだが、何か質問や意見等あれば出していただきたい。

（副会長）

- ・ 1 点目は、5 ページの財政的支援は、医療機関の再編や統合で単一医療機関においてもベッド数を減らすことで財政支援が受けられるかどうか教えていただきたい。
- ・ 2 点目は、ベッド数を減らさなくても急性期から慢性期に移すような形で病床機能の変更もこのような支援がられるかどうか教えていただきたい。

- ・ 3 点目は 13 ページの地域医療介護総合確保基金だが、この地域は医師少数地域もでているので医師の現在指数でこの医師確保に何か繋がる支援がいただけるのかどうか教えていただきたい。

(事務局)

- ・ まず 1 点目の財政的支援について、再編統合という記載があるが仮に単独の医療機関であっても減床した場合などの財政的な支援があるかということだが、このモデル推進区域になったから初めて受けられる補助制度ではなく、現行の地域医療構想に基づく制度がある。別途、詳細の説明ができるのでお問い合わせいただきたい。
- ・ 2 点目は、財政的支援に関連して、減床だけでなく急性期のものから慢性期への転換を挙げていただいたが、そういった病床機能の転換に対応した支援補助政策制度があるかという質問であるが、これもモデル推進区域になった地域だからというわけではなく、同じように現行の地域医療構想に基づく制度がある。
1 つご注意いただきたいのは、先ほど慢性期ということの言及があったが、制度としては急性期から回復期に転換したものについてである。
- ・ 3 点目は、医師確保について、県でも重要な課題ということで知事が先頭になって取り組んでいる。現在、医師の数は増えているが、まだ依然として全国平均で見ると人口当たりでは全国より下回っている状況である。
- ・ 来年に向けて新しい取り組みの 1 つを紹介させていただくと、群馬大学に地域枠の入学区分を設けており、その地域枠を卒業した方には向こう 10 年間で群馬県内で働いていただき、そのうちの 4 年間は医師の少数区域や少数の診療科目で働いていただくというものである。修学資金を貸与してそのような条件で働いていただき、修学資金の返済が免除されるという仕組みである。
- ・ 現行は、群馬大学に 1 年の入学定員を 18 名設けているが、来年度は私立の大学も含めて 9 名増の 27 名に増やしたいと考えている。今、国と協議しており国からの了解をいただく作業をしている。
- ・ 具体的には群馬大学の 18 名を 5 名増の 23 名に増やしたいと思っている。このうちの 5 名のうち 2 名は新規の 1 年生の入学枠、3 名については編入学にも地域枠を設けて群馬県で着実に働いてくれるドクターを確保するように考えている。
- ・ また、残りの 4 名だが、新たな取り組みとして東京の私立大学に群馬県の地域枠を設けるものである。
- ・ 具体的には、東京医大に 2 名、杏林大学に 1 名、帝京大学に 1 名である。まだ正式に国から了解をいただいていないが、今の段階から PR させていただき、ぜひ、伊勢崎地域でも関心があれば勧めていただけると大変ありがたい。そういう取り組みを踏まえて、医師の確保にさらに努めていきたいと思っている。

(副会長)

- ・ 今の説明でだいぶ明るい兆しが見えて大変期待している。

(会長)

- ・ それでは地域医療構想アドバイザーの長坂先生に今の説明並びに羽鳥副会長からのご意見等を踏まえて、何かアドバイスがあればコメントをお願いしたい。

(アドバイザー)

- ・ 地域医療構想アドバイザーとなっているが、県医師会で皆さんと一緒にこういったことを長年苦労している仲間という風に思っていたけるとありがたい。
- ・ この伊勢崎地域は、大変個性的で素敵な病院がたくさんある。さらに市民病院は質的にかなりブラッシュアップされ、これをずっと維持してきている公的な病院である。また、医師会立の病院は運営が大変だと思うが、この地域にあることで医師会員にとっては大変使いやすい病院である。この地域は実は素晴らしい絵が描けているが、これを維持する中で一番大変なのは、医師、看護師、その他の人の確保を継続して維持していくことができるかということが大きな課題としてある。
- ・ さらにこの地域は、埼玉県北部からの救急患者の受け入れの大きな柱になっているが、ここがあるおかげで県を越えて何とか県民が安心して暮らせる環境が維持できている。これも今後どうやって維持していくのかといったときに、やはりそこで活躍するマンパワーをしっかりと確保する方法論を作らないとなかなか難しい。
- ・ 今ある病院が大変魅力的なので幸いドクターもある程度は維持できているが、将来の2040年に向けてこれが維持できるかどうか、ここに今回のモデル地域として国からこういったアドバイスをいただけるのかが大変興味のあるところでもある。
- ・ どういう財政的支援がいただけるのか、前向きな意味でこの地域にとって価値の高い支援をいただけるといったことを見守りたいと思い、アドバイザーとして参加させてもらっている。
- ・ しっかりとこの地域が成り立つ形を作ることが、群馬県全体にとっても大きな価値になると思うので頑張っていきたいと思う。

(会長)

- ・ かなりスケジュールもタイトだが、またそれぞれの調整会議等で有意義なやりとりができればと思うのでよろしくをお願いしたい。

報告（２）令和６年度伊勢崎保健医療圏の医療機能等の現況について

○資料３に基づき事務局から説明。

○意見等なし

報告（３）第８次群馬県保健医療計画の進捗状況について

○資料４に基づき事務局から説明。

○意見等なし

報告（４）令和５年度病床機能報告の結果について

○資料５に基づき事務局から説明。

○意見等なし。

議事・報告全体について

（会長）

- ・ それでは最後に地域医療構想アドバイザーの長坂先生から、全体を通してコメントをお願いしたい。

（アドバイザー）

- ・ どういうふうに分析されてこの地域としてどういったアドバイスをいただけるのか、今後の一番大きなポイントになると思う。
- ・ 国はともすると減らすことだけを考えていることは決してないというが、そういう方向に行く可能性を大変懸念している。この地域にとって本当に必要で活用できる病床をしっかりと確保する視点をしっかり忘れず、みんなでスクラムを組んでいけたらいいと思う。

（会長）

- ・ 貴重なご意見をいただきありがとうございました。

５ 閉会